

ムーアカデミー通信



Aichi Kaisho Forest Center News Letter Since 2007



トノサマガエル

夏



森の生き物たちは
一年で最も生き生きと
輝いています。



ハラビロトンボ♂



ベニシジミ



特集 海上の森はいま

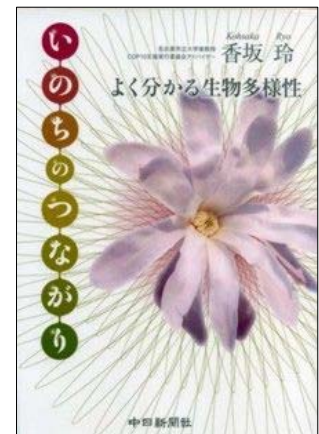
平成21年度期あいち海上の森大学が開校
～生物多様性も視野に入れ～
第3回人と自然の共生国際フォーラムの参加者募集!

この人! 「森の中の絆」 NPO法人「とき」を祝うメモリー 江尻吉彦さん

新着図書を紹介します

「いのちのつながり よく分かる生物多様性」

名古屋市立大学准教授で COP10 支援実行委員会アドバイザーである著者が、「生物多様性」についてわかりやすく解説した一冊です。来年、愛知・名古屋では COP10（第10回生物多様性条約締結国会議）が開かれます。その前に、この本を読むことで、生物多様性についてもっと理解を深めてみませんか。生物多様性条約の意義とは？そもそも生物多様性って何？といった疑問にやさしく答えてくれます。また、日本を始め、世界各地における生物多様性を取り巻く現状や取り組みを紹介しています。この本を読んで、ぜひ生物多様性を身近に感じてみてください。
香坂玲著 発行所：中日新聞社



特集 海上の森はいま

平成21年度期あいち海上の森大学が開校 ～生物多様性も視野に入れ～

平成 21 年度期「あいち海上の森大学」が 7 月 12 日（日）に開校しました。

今年度の大学は、常設コースの森林再生コース、国際交流コースに加え、新たに森林・里山環境教育コースを新設し、全体で 35 名の入校者でスタートしました。来年度開催される COP10 に向け、生物多様性に関する講座を取り入れながら、また、国際交流コースの 5 名の外国人の方との交流も図りつつ、多彩な講師陣による講座を展開していくこととしております。

これに先立ち、7 月 12 日の開校記念として、「身近な自然から考える生物多様性～森って面白い～」をテーマに、アウトドアタレントであり、COP10 名古屋生物多様性アドバイザーである「鉄崎幹人」氏の講演会がありました。

内容は、私たちの身近にある自然が今どんな様

子なのか、どう変わってきたのか、どう関わっていくべきかなど分かり易く、またユーモアたっぷりにご講演いただきました。外来生物の解説では、それを食した経験を披露され、ジャンボタニシやアメリカクイツキガメが大変おいしく、みんなで食べて駆除しようなど楽しさに富む講演でした。

受講生の皆様が、本年度期を修了され、今後それぞれの立場で地域の中で、また、生活においても循環型の社会づくりを担っていただけることを期待しております。



あいち海上の森大学学長挨拶
マリ クリスティーヌ氏



開講記念講演
鉄崎 幹人氏

第3回人と自然の共生国際フォーラムの参加者募集!

「自然の叡智」をテーマに開催された愛知万博の理念や成果を継承し、人と自然が共生する持続可能な社会づくりに向けた大きな潮流を創り出すため、2007年から10年間に渡って開催する「人と自然の共生国際フォーラム」。2010年に愛知・名古屋で開催される COP10 の 1 年前にあたる本年は、「生物多様性」をキーワードに、森林・里山の本当の価値を見直すことで、私たちの暮らしとどのように関わり、これからどう行動すべきかを考えます。

以下のプログラムを予定しておりますので、みなさんのご参加をお待ちしております。

テーマ：生物多様性から考える人と自然の共生
～森林・里山にみるいのちのつながり～
プログラム：

クリスティーン・フォン・ヴァイツゼッカー氏
(COP9におけるドイツの NGO 代表) による基

調講演を始め、県内外の自然環境に関する活動団体・施設等によるポスターセッションや有識者等によるパネルディスカッションなどを行います。2 日目にはフィールドワークもあります。

日時：

平成 21 年 10 月 24 日（土）午前 10 時～午後 7 時

25 日（日）午前 10 時～午後 3 時

場所：1 日目 愛知県産業労働センター（ウインクあいち）大ホール（名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38 名古屋駅前、徒歩 3 分）

2 日目 海上の森（瀬戸市海上町他）始め 県内のフィールド

参加費：無料(但し 1 日目の交流会は会費 3,000 円)

募集期間：平成 21 年 9 月 4 日（金）～10 月 10 日（土）(当日消印有効)

詳しくは、ホームページをご覧ください。

<http://www.mu-academy.jp/daigaku/index.aspx>